

林内・傾斜地で楽々使える新たなジビエ運搬車

シカやイノシシを捕獲する際、車両の進入が困難な場所では、捕獲個体を人力で運搬したり、現地で埋設していることが大きな負担となっており、ジビエ利用が進まない原因ともなっています。そこで、道のない林内から林道まで、軽トラなどの車両の進入が困難なエリアから捕獲個体を搬出し、搬出時間の短縮や作業負担の大幅な軽減を目的とした、新たなジビエ運搬車を開発しました。

【ジビエ運搬車両（バギー）】 [令和2年度まで実証試験中]

- 傾斜地や悪路でも走行可能の乗用型運搬機器（リモコン搭載）
- 複数個体の運搬が可能
- 大型囲いわなや箱わな等の捕獲資材の運搬が可能



- ◇車体
180cm × 130cm、180kg
- ◇荷台装備
100cm × 100cm
荷台はフラットに展開可能
- ◇4WS
- ◇4輪油圧ディスクブレーキ
- ◇インホイールモーター
1,000W × 4個
- ◇リチウムフェライト 48V 60Ah

【電動クローラ型一輪車】 [令和2年度まで実証試験中]

- 急傾斜地でも走行可能の一輪車型運搬機器
- 軽量小型で手押しで使用し、車両への搭載も容易
- くくりわななど、一回の捕獲頭数が少ない場合に有効



- ◇車体
160cm × 60cm × 65cm
- ◇荷台装備
90cm × 60cm
- ◇最高速度3km/h
- ◇前・後進可能
- ◇積載量 80kg（親シカ＋子シカ）
- ◇走行可能斜度
35度

本研究は、農研機構生研支援センター「生産性革命に向けた革新的技術開発事業（うちスマート捕獲・スマートジビエ技術の確立）」の支援を受けて実施した。

八代田千鶴（関西支所）、山口浩和（林業工学研究領域）、陣川雅樹（九州支所）



国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所